

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

<b>施設名称</b>		〔20〕 東京都台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター				
<b>指定管理者の名称</b>		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		<b>指定期間</b>	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	やなか・うえの・みのわ高齢者在宅サービスセンター					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 557, 487, 339円, 歳出2, 553, 884, 652円, 収支差額3, 602, 687円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区浅草4-26-2					
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く） 8時30分～17時15分					
(5) 規模	延べ床面積 4, 588. 35㎡の内517. 99㎡ RC造地上5階地下1階のうち5階の一部					
(6) 人員体制	16名 内訳…常勤事務員(1)、介護職員（常勤4、非常勤9）、看護職員（常勤1、非常勤1）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所介護・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		<b>17年度</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
予算	負担金	19, 797, 000	10, 877, 000	13, 082, 000	7, 306, 000	1, 876, 000
	料金収入等	83, 568, 000	124, 727, 000	121, 131, 000	118, 329, 000	125, 900, 000
	管理経費	103, 365, 000	135, 604, 000	134, 213, 000	125, 635, 000	127, 776, 000
決算	負担金	3, 529, 813	0	6, 166, 969	7, 306, 000	1, 876, 000
	料金収入等	108, 321, 324	125, 322, 821	134, 347, 712	130, 842, 122	131, 019, 086
	管理経費	89, 472, 545	115, 127, 790	122, 786, 980	124, 505, 183	116, 339, 495
	収支	22, 378, 592	10, 195, 031	17, 727, 701	13, 642, 939	16, 555, 591
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>18年度</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
開館日数		日	311	311	311	311
定員（一般デイ）		人	45	40	40	40
定員（認知デイ）		人	12	12	12	12
<b>6. 成果指標</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>目標値 (23年度)</b>	<b>19年度</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>
利用率（一般デイ）		%	87. 0	85. 4	86. 3	82. 8
利用率（認知デイ）		%	84. 5	83. 1	81. 9	77. 6

## 7. 前年度からの取組

サービスの向上に努めながら、収支の改善に取り組んだ。今後も利用率の増加を図るため、玩具療法や認知症ケアの充実などの取組みを進めていく。

**8. 評価項目** 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	利用者のニーズに応じたサービスの提供など、適切な事業運営がなされている。自主的な取り組みとしての玩具療法の導入や認知症ケアに関する研修会の定期的実施など、サービスに向上に努めている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に実施されている。
(3) 利用者の満足度	A	利用者の満足度調査では、概ね高い評価を得ている。関係機関との連携も綿密で、地域に根ざした事業を展開している。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。料金収入の増収及び管理経費の削減など、収支の改善が図られた。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	施設の管理運営については、全体的に良好である。収支の改善が図られており、引続き効率的な運営とともにサービスの向上に努めていく必要がある。
-----------	--

## 11. 評価結果への対応

利用者のニーズに応じたサービスを提供し、施設の管理運営についても適切に実施されている。また、自主的な取り組みとして玩具療法の導入や認知症ケアに関する研修会の実施など、サービス水準の向上に努めている。今後も、利用者から高い評価を得られる施設運営を目指すとともに、運営経費の面で更なる削減を図っていくなどの経営努力を継続していくことが求められる。